

■昭憲皇太后 明治天皇の皇后。新時代に対応して活動，西洋の事物まで巧みに和歌に詠みこむ才覚で，国民に慕われた。

しょうけんこうたいごう

国定忠治磔・1850 =

生。父は左大臣一条忠香三女。生母は新畑大膳種成の女民子である。はじめ勝子と命名。富貴君と称したが，

ペリー来航・1853 = 3歳：この頃，「古今集」を朗吟し，

五ヶ国条約・1858 = 8歳：寿栄君と改称した。

安政の大獄・1859 = 9歳：

桜田門外変・1860 = 11歳：この頃には，白文の四書を読んだ。

大政奉還・・1867 = 18歳：新天皇の妻として，誰が見ても相応しい女性として，3つ年長ながら女御に治定され，この年天皇との年齢差，3歳年長を「世俗四つ目と称してこを忌む」として1年遅い嘉永3年を公式生年とした。

明治維新・・1868 = 19歳：美子と改名，*入内するとともに，女御宣下を蒙り，ついで皇后に冊立される。

戊辰戦争終・1869 = 20歳：

*明治天皇とともに東京に遷幸。

皇后は新しい時代にふさわしく，女性の立場から女子教育の振興，社会事業の発展，国産の奨励などに心を注いだ，一方すこぶる文藻に富み，その和歌の題材も自転車・写真・軽気球その他西洋文明のもたらした新しい事物にまで及び，またフランクリンの十二徳をそれぞれ巧みに和歌に詠んでいる。

明治6年政変 1873 = 24歳：

三つの反乱・1876 = 27歳：

西南戦争・・1877 = 28歳：西南戦争の時，政府軍・西郷軍の別なく傷病者の治療用に包帯を作る。

皇后は女子教育の振興，社会事業への寄与，国産の奨励などに心を注いだ，和歌もよくし，高崎正風に添削を依頼したものだけでも2万5000首に及んだ。

明治14年政変 1881 = 32歳：

内閣発足・・1885 = 36歳：

国民之友始・1887 = 38歳：華族女学校に賜った「金剛石」の歌は特に著名である。

帝国憲法発布 1889 = 40歳：

大本教・・・1892 = 43歳：成婚25年に各地から献上品があったが，すべて兵士の防寒服に下賜した。

日清戦争始・1894 = 45歳：日清戦争，

日比谷公園・1903 = 54歳：

日露戦争始・1904 = 55歳：日露戦争の時も，宮中の一室は包帯所となり，包帯作りは夜も続くことが多かった。

日露戦争終・1905 = 56歳：

明治天皇没・1912 = 63歳：*明治天皇の崩御により皇太后となり，青山御所に移ったが，

第一次大戦始 1914 = 65歳： 沼津御用邸で発病し，没した。昭憲皇太后と追号される。

実子はない。伏見桃山東陵に葬送。翌年，明治神宮に明治天皇とともに合祀された。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，